

2021年度 事業報告書

2022年6月17日

一般社団法人 ライフデータニシアティブ

1.事業の概要

ライフデータニシアティブとして次世代医療基盤法に基づく認定事業者としての責務を果たすため、多くの医療情報取扱事業者の賛同を得て医療情報の集積を図り、次世代医療基盤法に基づく適切な運用を進めると共に、利活用者並びに研究者の医療情報利活用事業の実績を創り上げ、事業の安定化を図るべく事業を推進した。

(1) 医療情報取扱事業者へのアプローチ

認定匿名加工医療情報作成事業者の認定以降、本格的な事業を推進している。今までの取り組みを通じ医療情報取扱事業者との信頼関係を築き、多くの医療情報の集積に努めた。COVID-19新型コロナウイルス感染症により当初の事業計画の達成に影響を受けてはいるが、多くの医療情報取扱事業者から賛同を得て匿名加工医療情報作成事業に参加いただいている。

2021年度の医療情報取扱事業者の実績は図表1の通りである。

図表1. 契約施設数（計画/実績数）

F Y	2020 (実績)	2021 (実績)
契約締結医療機関数	43	55
届出完了施設	17	44

※その他、政府と連携し、地方自治体が保有する医療情報への展開の可能性について自治体に対し意見交換を実施した。

(2) 自ら取得する医療情報の内容及び規模

昨年度（2020年度）と同様に、電子カルテデータ・レセプトデータ・DPC調査データを収集すると共に、新たな情報として医用画像情報の収集についても準備を進め、医療情報の利活用事業に新たな価値を予定している。（図表2）（図表3）。

図表2. 収集する医療情報

収集時期	収集情報	収集方法
事業開始から 収集する情報	電子カルテ	医療情報取扱事業者から直接 収集
	DPC調査データ	
	レセプトデータ	
2022年度（予定）	画像情報	医療情報取扱事業者から直接収集 又は学会等からの収集

図表3：属性ごとの収集する医療情報項目

属性	内容
基本情報	患者情報、健康保険情報
診療行為	診断履歴情報、基礎的診断情報、初診時特有情報、経過記録情報
	手術記録情報、臨床サマリ情報、検歴情報、バイタルサイン 体温表、注射記録、透析、汎用措置
	画像情報
レポート情報	報告書情報
レセプト情報	医科入院、医科入院外、DPCレセプト
DPC情報	様式1、3、D、E、F、EF統合、Hファイル
その他情報	生活習慣情報、紹介状、処方箋
画像情報	超音波画像（DICOM）を中心とした画像情報

※収集する医療情報項目は医療情報取扱事業者により異なる。

また、前述の医療情報取扱事業者へのアプローチの成果として2021年度末の医療情報の提供施設（オプトアウト通知開始施設）並びに想定する収集人数（ユニーク患者数）の目標値を示す（図表4）。

図表4：医療情報取扱事業者届出数、収集人数規模の推移見込み

項目	2020年度（実績）	2021年度（実績）
医療情報取扱事業者 *一定の要件を満たすオプト アウト通知等の対応施設	43施設	55施設
収集患者数 （ユニーク患者数）	67万人/年	140万人/年

（3）提供する匿名加工医療情報の内容及び提供先

医療情報利活用事業を展開するにあたり、民間事業者・学術機関での活用事例の蓄積を目指す。また、本情報を活用した行政関連機関による利活用事例の創出も図れるよう提案を進めた。

図表5. 匿名加工医療情報または統計情報の提供件数（2021年度実績）

提供先	提供サービス	提供目標 件数
民間企業	匿名加工医療情報	2
	統計情報	7
研究機関 ※1	匿名加工医療情報	0
	統計情報	4
行政団体	匿名加工医療情報	0
	統計情報	0

(4) その他の活動

2020年度に引き続き、次世代医療基盤法並びに認定事業の社会認知活動を継続するとともに、本事業によるデータ活用の高度化に必要な学術支援や当事業で保有する情報の質向上策の検討を進めた。

- ① 主府省庁と連携した地方公共団体への社会認知活動
- ② 収集した情報の質向上、サービス向上に繋がる研究の実施
- ③ 研究機関からのデータ活用に関する各種問合せへの対応